

# 成田山新勝寺へ初詣！

家内安全と商売繁盛などを祈願して、「長崎不動講」さんのお世話による恒例の初詣が行なわれました



護摩祈願が行なわれた成田山新勝寺大本堂。



今年には佐藤講元(右)をはじめ、83名が参加。

不動講の旗に、新たな歴史が刻まれました。



護摩祈願のあとには「光輪閣」で「坊入り」。



護摩札の仕分けは、講の役員さんが総出で一斉に行ないます。



「町の守り仏」として信仰されているお不動さま(不動明王)をお守りするために、椎名町商店街の皆さんが中心となって「長崎不動講」が結成されたのは昭和21年。成田山への初詣は50回近くも行われている恒例行事です。今年も佐藤講元を中心に役員さんたちが計画を立て「東京長崎不動講」の一行83名は朝7時、バス2台に分乗して一路成田山へ。もちろん先達(せんだつ)は金剛院の住職です。

この日は朝の護摩祈願を全員で受け、そのあと移動した銚子の町ではひもの屋さんでのお買い物、廃線の窮地を「ぬれ煎餅」が救ったことで知られる「銚子電鉄」への乗車、醤油工場見学など、お楽しみも盛りだくさん。

お不動様のご加護をいただきながら「椎名町をますます元気にする年にしよう」と祈念した一日でした。



お正月らしくお屠蘇もふるまわれました。



坊入りの料理には、成田山だけで生産されている特大の「大浦ごぼう」の煮付けも。



昼食後は「ハズレなし」のお楽しみ抽選会。



午後からは一同そろって銚子の町を満喫！



**おみやげ**  
「ぬれ煎餅」が大人気でした！

